

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

おひさま通信

〒779-3125
徳島市国府町早瀬字雀ヶ原218番6
Tel/Fax 088-642-5933
NPO HP <http://npo-ohisama.org/>



VOL. 9

2010年6月1日発行

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま（以下「おひさま」）は、1986年以来活動をすすめてきたすぎの子共同保育所の保育実践をベースに、新しく地域の子育て支援センターとしての役割を担いたいと2005年6月24日に設立認証されたNPO法人です。

おひさま通信は、会員や地域の方々を結ぶ機関誌として、おひさまの諸行事の案内や報告、すぎの子共同保育所の子どもたちの様子などを掲載しています（季刊）。

園開放事業報告

『母と子のタッチセラピー・ベビーマッサージ』 参加レポート

3月6日土曜日、長谷川亜代さんを講師にお迎えして講座が開催されました。“美しい花を咲かせるためには土壌作りが大切であるように、子ども達が自分らしく生き生きとした人生を送るためには、土台である体と心をしっかりと健全な状態にしてあげるのが、親や周りの大人達の役目である”ということを学ぶ場となりました。



まずは、『食育』について、『まごわやさしい』を基本とした食生活の勧めのお話がありました。『ま』は豆類、『ご』はごま、『わ』はわかめなどの海藻類、『や』は野菜、『さ』は魚、『し』はしいたけなどのきのこ類、『い』はイモ類。日本人が昔から食べてきたものですね。現代では食生活も多様化し、様々なものが食べられるようになってきました。もう一度、昔ながらの食生活に立ち返って、健康な食生活を送りたいと考え直すきっかけとなりました。

次は、肌のふれあいの大切さ、『触育』についてのお話。昔から私達は、怪我をしたり、痛くなったりしたら、『痛い、飛んでいけ』と叫んで、自然に患部に手を当てる『手当て』をしてきましたね、というお話があり、“なるほど私達は普段から、そうやって触ったり触られたりしているなあ”と思いました。手をあててもらえると痛みが軽くなるような気がするし、何より安心します。触れることで皮膚感覚を通して愛情が伝わっていきます。

いよいよマッサージとタッチセラピー。最初はいやいやと逃げ回っていた子も触られるうちに気持ちよくなってきたようです。もちろん、ずっとイヤイヤしている子もいましたよ。（うちの子もその1人で、ずっとトイレにこもってました！）そういう時はお母さんはやきもきしますが、触らせてくれる気持ちになった時にゆっくり触ってあげましょうということでした。



食育と触育の大切さを、ゆっくりとあたたかい気持ちで学べた今回の園開放でした。参加者：姫野 美穂

会員募集

みなさんの力でおひさまの活動を支えてください。

子育てが楽しくなる、子どもの目が生き生きと輝く活動に取り組みます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方など、入会をお待ちしております。

年会費 ★正会員 5000円 (入会金：なし)
★賛助会員 一口1000円 (入会金：なし)

会員特典 ☆総会決議権（正会員のみ）
☆おひさま通信配布（年3回）
☆イベント割引（例：園開放通常参加費大人300円⇒100円）



010.5.31現在：正会員56名 賛助会員7名

寄付のお願い

新園舎建設に2165万円の債権を寄せていただきました。2010年4月から債券返済が始まりました。引き続き寄付をお受けしております。今後ともよろしく願いいたします。

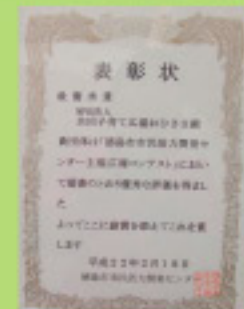


会費、寄付振込口座および振込名義
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

活動報告

☆NPO広報誌コンテストに参加しました

前号のおひさま通信8号を『徳島市市民活力開発センター主催広報コンテスト』に応募しました。テーマは『伝わる広報誌』。審査の結果、見事最優秀賞をいただくことができました！これからは保育や園開放事業の様子、大切にしていること等を丁寧に伝えていきたいと思っております。ご意見、ご感想お待ちしております。



☆NPO成果発表会に参加しました

2010年3月21日（日）、徳島市両国橋野外ステージで開催された『徳島市市民活力開発センター主催NPO成果発表会』に参加してきました。保護者と職員で、日常保育の写真パネルを使い、保育所の生活や保護者の保育所に寄せる思いを発表しました。来場者が応援したい団体に投票するという形式でたくさんの方の投票をいただきました。在園・OB合わせて約40名もの応援で参加することができ、他団体の活動にも触れる良い機会となりました。

おひさまは こんなこともしています

- 特定非営利活動に係わる事業として
- 1) 保育事業
※「職員と保護者が共同して子たちの保育に関わる」保育所を目指します。
 - 2) こどもの育児相談
(発達に関する相談を含む)事業
※電話相談受付時間 13:00~16:00
 - 3) 保護者に対する子どもの健全育成のための啓発事業
※子育て講演会・園開放事業 等
 - 4) 障害児(者)の保育や発達に関する相談事業

ボランティア募集

もっとたくさんの人におひさまをしてみたい、活動を広げていくためにボランティアを募っています。

ボランティアさんの声

- ◇保育のお手伝い (要保育士資格)
- ◇事務局のお手伝い (印刷や発送などの作業)
- ◇おひさま通信の編集
- ◇園開放事業スタッフ (受付・準備・広報など)
- ◇畑作業のお手伝い 等...

卒園後もボランティアの1人として給食室の手伝いをさせていただきました。給食室の先生方の工夫に感心したり、手早さに驚いたり、保育所の献立を我が家の夕飯のヒントにしたり...新しい発見がたくさんあります。再び保育所で子ども達の姿を見ることができるとても楽しみにしています。

09卒OB 岡田

みんなで作って、みんなで食べよう!

3歳児クラスの、栽培から収穫・クッキングまで、1年間の様子です。
直接体験の中で、五感をフルにつかい、食への興味、関心が広がっていきます。



自分達で作ると、苦手な野菜にもすぐに手が伸びます。大きな口をあけ、顔をくしゃくしゃにしながら、『おいしいなあ』と友達と笑いあって食べています。

毎日、水をやり、草を抜き、『おおきなーれ!』『おいしくなあれ』と話しながら実がなることを楽しみに世話をしてきた子ども達。収穫した野菜を、眉間にしわを寄せながらゆっくり包丁を動かして切って行きます。手のひら全体を使い力を込めて、もんだりちぎったり、透明の鍋の中で沸騰している様子をまばたきを忘れて眺めたり…。

見たり、触ったり、匂ったり、きいたり、味わったりしながら、食べることへの興味・関心がひろがります。自分が関心を持ったことや不思議に思ったことをすぐに仲間に伝えたり、また、仲間の発言や発見に驚き心を動かされたり…。大好きな仲間と、経験や思いを共有しながら関係が深まっていきます。



具だくさん味噌汁作り

自分達で育て収穫したレタスとほうれん草、他に人参と大根を入れたお味噌汁を作りました。
細かくちぎったり、包丁で切ったり…
『やさしいがおどなりよるみたい…』
『あわおどりみたいやな…』
と、鍋の野菜を目で追っています。



クッキー作り

こねたり、つまんだり、ちぎったり…
『かめつくったよ』
『なんでもかめなん?』
『カメすきなんよ』
思い思いの形を作りました。



畑で自分達で掘った芋を使います。『こやってくるんよな〜』『そうそう』。洋食ナイフを使って切りました。ゆでています、皮が難しい。

さつまいものホットケーキ作り



みんなで順番に材料を混ぜていきます。混ぜるうちに、『うごかん…』『おもしろなあ』と。周りの子が、『ほなもってあげようか』とボールを支えてくれました。1人が『おいしくなあれ』と言うと、口々に『おいしくなあれ』と大合唱が始まりました。



大きいホットケーキを作ろうと、みんなでボールを持って、生地をホットプレートに流し込みました。『まだかなあ』とホットプレートをのぞきこんだり、『なんかおとがきこえる』と、不思議そうに耳をすませたり…。大きいホットケーキが出来上がると、『うわあ』と大喜び。『おいしいなあ』『おれがきったかわがはいっ』など嬉しそうにおしゃべりしながら食べていました。



『うわあ!こんなに大きいわ!』
『ぶつぶつがでてきた!』
『ここにもきゅうりがある!』
畑では発見がいっぱい。

5月に、きゅうりとかぼちゃの苗を畑に植えました。水やりや草抜きをしている仲間に気がつく、「自分も」と一緒になってお世話をする姿が見られました。その姿を見て、周りの子も気づき、一人、二人と増えて、いつの間にか、8人全員が畑を囲んでいました。苗を見ながら、『やいてたべる?』『ゆがいてたべる?』と仲間と、食べる時のことを想像し、話しているうちに、自然と顔がゆるみ笑いあったり、『はようおおいなれ〜よ』と、野菜に話しかけていたり…。大きくなる日を楽しみに待つ子ども達です。

収穫したきゅうりを『みんなにもあげよう!』『だっておいしいもん!』と、全クラスに配ることになりました。包丁で切って、塩をそっとつまみ、きゅうりにかけます。よくもんで、味見をすると…。目をまあるくして満面の笑みをこぼす子もいれば、目をつぶってその場をびよんびよん跳びはねたりと、一人ひとりいろいろな表情をみせ、『おいし〜!』と大絶賛!
少してれながら、しかし、大きく胸を張りながら、クラスごとに配って行きました。みんなから『おいしい』『ありがとう』と返されると、照れながら顔をかくすように笑い、小さな声で『どういたしまして』と答えていました。



収穫の時、きゅうりをおひさまの光に当てながら『おっき〜みて〜!』大声で仲間と喜び合っていました。『いっしょにもてるぐらいいおおいなあ!』

きゅうりが転がっていかないようにしっかりおさえます。初めて使う包丁。緊張していましたが、仲間が見守る中、ゆっくりと切っていました。

